

第 67 年度（令和 2 年度）事業計画書

令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

令和2年度事業計画
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

1. 研究助成金の交付

◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員（シオノギ関係者を除く）が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を候補者として選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

◇「特別研究助成」

大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で正式な助成決定をする。応募者との直接の利害関係者は選考の評決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

2. 研究成果報告

- ・塩野義製薬株式会社 医薬研究センターにて、「第39回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催する。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

3. 助成の募集

- ・「令和3年度特別研究助成」の公募を行う。

II.事業の内容

1. 研究助成金の交付

1)研究助成（全国対象：50万円/件・年）：

4年目：5件、3年目：4件、2年目：5件、新規：5件

計 19件 計 950万円

2)特別研究助成

（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象，250万円／件・年）：

2年目：2件、新規：3件

計 5件 計 1,250万円

総計 24件 計 2,200万円を交付予定

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

2. 第39回研究助成発表会の開催

令和2年7月3日（金）午後1時から

於 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム
（大阪府豊中市二葉町3-1-1）

プログラムは【別紙2】の通り。

助成期間が終了した、平成28年度新規「研究助成」交付者および平成30年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費：270万円

3. 助成の募集他

「令和3年度特別研究助成」の募集テーマ・募集要項を決定し、公募する。
また、選考委員会を開催し、研究助成及び特別研究助成の審査・選考を行う。
採択数は研究助成5件、特別研究助成3～4件程度の予定。

これら公益目的事業推進費：475万円

4. 公益事業拡大に向けた検討

現在の公益事業の拡大及び、新規公益事業の検討を行う。

以上

令和2年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1件50万円×19件=計950万円)

助成	所属 (申請時)	研究者	研究テーマ
4年目	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファン系の面不斉を利用した新規触媒の開発
4年目	大阪大学大学院工学研究科	鳶巣 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
4年目	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化合物の創製
4年目	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
4年目	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価
3年目	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
3年目	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
3年目	京都薬科大学 病態薬科学系臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
3年目	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
2年目	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
2年目	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関与する因子の検討
2年目	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメーjingプロープの創製とその応用
2年目	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学) / 共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
2年目	京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開
新規	大阪大学大学院薬学研究科	井川 貴詞	高歪み多環芳香族炭化水素の革新的合成
新規	国立医薬品食品衛生研究所	佐藤 薫	不飽和脂肪酸のグルタミン酸トランスポーター制御機構の解明と中枢神経系創薬への応用
新規	大阪大学産業科学研究所	滝澤 忍	環境低負荷型不斉ドミノ反応の開発と多官能性キラル複素環骨格構築への展開
新規	徳島大学大学院医歯薬学研究部 (薬学域)	立川 正憲	ヒト血液脳関門透過機構に基づく脳細胞標的化微粒子創製の基盤構築研究
新規	福井大学学術研究院医学系部門・分子生体情報学分野	山田 雅己	核移行因子 KPNA1 による軸索輸送制御メカニズムとその生理的意義の解明

◆ 特別研究助成 (1件250万円×5件 = 計1,250万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ
2年目 第1位	神戸薬科大学	上田 昌史	環骨格リモデリング戦略に基づく多環式ヘテロ環の創製
2年目 第2位	京都大学大学院薬学研究科	小林 祐輔	アミドの分子変換を基盤とした医薬品シーズの創製
新規 第1位	大阪大学大学院薬学研究科	笠井 淳司	中枢疾患創薬を加速する全脳細胞解析による不安障害の標的分子の探索
新規 第2位	国立循環器病研究センター 研究所 病態代謝部	堀 美香	家族性高コレステロール血症における PCSK9 の意義の解明と病態モデルの開発
新規 第3位	京都薬科大学統合薬科学系	高田 和幸	アルツハイマー病に対する自己幹細胞由来免疫細胞を利用した細胞性医薬品の開発

第39回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時： 令和2年7月3日(金)13時00分から17時20分

場 所： 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム

(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

06-6331-5105【事務局直通】、06-6331-8081【代表】

※講演順、演題等に変更となる場合がございます。

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演 題 (講演25分、討論10分)

座 長

13:05-	1. 肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製 大江 知之 先生 (慶應義塾大学薬学部)	廣部 雅昭 先生
13:45-	2. ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析 増田 修一 先生 (静岡県立大学食品栄養科学部)	伊勢村 護 先生
14:25-	3. ストレスによる薬物欲求増大の神経メカニズム 金田 勝幸 先生 (金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室)	佐藤 公道 先生
15:05-15:20	休 憩	
15:20-	4. 超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出 松岡 浩司 先生 (埼玉大学大学院理工学研究科)	西村 紳一郎 先生
16:00-	5. 生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発 西山 成 先生 (香川大学医学部薬理学)	岩尾 洋 先生
16:40-	6. 《特別研究助成》 小児脳難病の病態解析によって発見された若年脳遺伝子の機能解明 森 雅樹 先生 (滋賀医科大学 神経難病研究センター)	塩野義製薬(株) 研究員